

**8/3** **アメリカの友が訪問 親交を深める**  
姉妹都市フッドリバー市から訪問団が来町

8月3日から8日まで、姉妹都市・米国オレゴン州フッドリバー市から訪問団19人が来町し、町民との交流を深めました。

滞在期間中に訪問団は鶴田中学校を訪れ、書道や着物の着付け体験をしました。また下山学園高校を訪れた際には、うちわ作りを体験。高校の生徒から英語で作りを教わりながら、和紙を竹の骨組みに丁寧に貼り付けていました。また、一行は弓道と柔道なども体験し、日本文化に触れていました。



歓迎会で和太鼓の演奏を体験する訪問団



青森ワッツの選手・コーチとミニバスクラブの子どもたち

**8/9** **プロ選手が小学生とサプライズ交流**  
青森ワッツの選手・コーチ陣がミニバスクラブを指導

プロバスケットボールBリーグ2部(B2)の青森ワッツの選手とコーチが鶴田ミニバスクラブをサプライズ訪問しました。

今回の訪問は今年3月の青森ワッツ存続危機の際に、町バスケットボール協会などが寄付金を贈ったことがきっかけ。子どもたちはサプライズ訪問に驚きながらもプロから指導を真剣に聞き、技術を吸収していました。

北谷稔行GMIは「寄付金の恩返しとして、子どもたちに会いに来ました。真剣にプレーを楽しんでいる子どもたちから元気をもらいました」と話していました。

**8/29** **住民の方々に役立てて欲しい**  
青森県西部郵便局長会五所川原部会 社協に寄贈



青森県西部郵便局長会五所川原部会(部会長・松山保鶴田町郵便局長)と夫人会が町社会福祉協議会に肘跳ね上げ式車いすと歩行器を寄贈しました。同部会による寄贈は今回で9回目。

**8/20** **長年にわたり地域の安全に尽力**  
須郷耕二さん防犯功労者表彰



長年地域の安全活動に尽力してきた、鶴田町防犯連絡協議会の須郷耕二会長が、東北管区警察局長と東北防犯協会連絡協議会の連名による防犯功労者表彰を受けました。

**地域おこし  
協力隊通信**

Vol.72 (筆: 葛西 あゆみ)

8月10日、11日につるたまつり2024が開催されました。豊明館にはちびっこランドが開放され、東京からやってきたという「ふわふわ遊具」に子供たちは夢中、汗だくになって遊んでいましたが、空調が効いた室内で快適に遊ばせてもらえてありがたかったです。他にも昼間はつるりんねぶたの紙張り体験や大抽選会、夜はつるりんねぶたを引いて町内をまわり、昨年よりも長くなった運行距離もなんとかゴール、終了後にお土産をもらい、最後はグランドフィナーレ花火を鑑賞。子供たちにとって楽しい夏の思い出となったつるたまつり、来年も楽しみにしています。

畑ではスチューベンが色づいてきました。鳥獣害対策の季節です。師匠の教えを乞いながら、ネットや袋をかけて対策をしています。収穫まであと一か月、気を引き締めて無事収穫を迎えたいです。



△つるたまつりを楽しんだ葛西さん一家



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。

**8** 町民が夏のひとときを楽しむ  
**10** つるたまつり 2024

8月10日・11日の2日間「つるたまつり」が行われました。

祭りでは、子どもたちが楽しめるふわふわ遊具や縁日、ねぶたの紙貼り体験のほか、ビアガーデンやJAつがるにしきた鶴翔支店提供による特産物大抽選会が行われました。

夜にはねぶた8台が町役場を出発。囃子の音色とともに進むねぶたを沿道に集まった人たちは一緒にかけ声を上げたりして楽しんでいました。まつりの最後には花火が約15分間打ち上げられ、祭りのフィナーレを飾りました。



**地域おこし**  
**協力隊通信**

Vol.73 (筆：帯川 匠)

あっという間の5ヶ月間、房作りで神経を使った後に、現在は暴走するわき芽や永遠に伸び続ける種枝に負けじと、防鳥ネットや鳥よけテープなどで害獣対策をしています。

適度に降る雨、間に出る晴れ間で伸びる枝には何とか対応していますが、高温多湿で刺さるような直射日光には勝てないですね。今まではニュースなどで気候変化が話題に出ても関心が無かったですが、農業に従事する立場になると、少しの変化で園地の状況が大きく変わり、作物などによっては大惨事にもなりかねないとも聞きます。

自分の畑を持っていない私が言うのも変ですが、油断大敵で収穫まで踏ん張りましょう！



▲園地で農作業中の帯川さん

**地域おこし協力隊とは**

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を「地域おこし協力隊員」として町が委嘱。隊員には、地域おこし支援や地域協力活動を行っていただき、その地域への定住・定着を図る取組。